

2022年度(令和4年度)新体力テストの結果

児童質問紙(第5学年)

運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか

	好き	やや好き	やや嫌い	嫌い
男子	60.00	40.00	0.00	0.00
女子	64.29	35.71	0.00	0.00

体育の授業は楽しいですか

	楽しい	やや楽しい	やや楽しくない	楽しくない
男子	40.00	50.00	0.00	10.00
女子	78.57	21.43	0.00	0.00

運動やスポーツをどのくらいしていますか(体育の授業をのぞく)

	週に3日以上	週に1~2日くらい	月に1~3日くらい	しない
男子	80.00	0.00	20.00	0.00
女子	35.71	42.86	21.43	0.00

体力・運動能力(第5学年)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点		握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
男子	16.90	20.20	36.80	38.70	50.50	9.14	154.60	24.50	55.70	女子	16.50	18.21	37.43	35.50	26.43	9.54	145.79	13.36	53.07

県平均値(R4)かつ全国平均値(R3)未滿

重点課題および要因

情意面

・肯定的評価は、概ね80%以上だが、「運動やスポーツを月に1~3日くらい行う」と回答した児童が20%いる。
⇒運動習慣が身につけていなかったり、運動する機会が少なかつたりすることが要因と考えられる。

体力面

・「反復横とび」「20mシャトルラン」の記録が全国平均値かつ県平均値より特に低い。
⇒運動経験の少なさが影響していると考えられる。

重点課題等に対応した改善する取組内容及び方法

体育の授業で行う取組内容

- ・基礎運動能力を養ったり、敏捷性が向上できるように授業開始5分間、発達段階に合わせたサーキット運動やラダートレーニングに取組む。
- ・「やってみたい」「楽しい」という思いを自然に体得できるように、条件や環境を工夫したゲーム性のある活動を取り入れて単元を構想する。
- ・体幹や下半身を鍛えるとともに、跳躍力が向上できるように、準備運動でジャンプスクワットやワイドスクワットなどを実施する。

体育の授業以外で行う取組内容

- ・全身や筋肉の持久力を高め、敏捷性を鍛えることができるように委員会を中心に全校でなわとびに取組み、「なわとび大会」を行う。また、体を動かす楽しさやできる楽しさが実感できるように、なわとびカードを活用し「なわとび検定」を実施する。
- ・週に1回ロングタイム休憩を取り入れ、長時間外で遊ぶことができるように環境を設定する。
- ・子どもが主体となって体力向上が図られるように、児童会が主催した兄弟学年での運動遊び・レクリエーションを実施する。

2023年度(R5年度)の重点目標値

- ・運動習慣があまりない児童の割合を15%以下にする。
- ・「反復横とび」と「20mシャトルラン」を平均値以上にする。